



学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性、社会性が豊かな子どもの育成

吉田小通信

吉田小の4つのこだわり

- 自分からあいさつ
- 時間を守る
- 全員でそうじ
- くつばこの整理

北九州市立吉田小学校
校長 上満 佳子

令和7年10月29日 発行 NO.11

北九州市子ども読書の日～身边に本 気軽に読書～

読書の秋です。前号で本校の読書週間の取組について掲載しましたが、全国的に10月27日から11月9日まで、読書週間となっています。ポスターには、「こことあたまの、深呼吸」という標語が書かれています。素敵な標語だと思いませんか。本を読んで、一人一人が深呼吸するように、本と向き合う、ゆったりとした時間をもつことができるといいなと思っています。

この読書週間の時に合わせて、数年前から本市では、4月の子ども読書の日に加え、秋にも「北九州市子ども読書の日」が設定されています。この秋の「北九州市子ども読書の日」もずいぶん認知されるようになりました。市内の各学校で秋にも読書に関する取組を行っています。市内の公共図書館でもイベントが開催されています。このような機会をいかして、ご家庭でも読書の楽しみを伝えてほししいと思っています。

さて、北九州市の目指す姿は、「すべての子どもが日々の中ですぐりで本を手に取って読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常」です。このような子どもに近づけるように、ご家庭と手を取り合って読書大好きな子ども達に育てていきたいです。まずご家庭でもお子さんとご一緒に、自分のペースで読書を楽しんでほしいと思っています。先日市長の定例会見でも読書活動の推進について言及されましたが、教育委員会からも通知があり、本校でも読書活動を推進していきます。図書委員会の子ども達が、読書週間の取組の一環として、不要なブックカバーを使ったしおり作りを計画して昼休みにお世話をしました。大盛況でした。これも読書への誘いになります。ご家庭でもお子さんとご一緒に、秋の夜長読書を楽しんでみませんか。



第79回読書週間ポスター



お子様や保護者の方に「困り感」はありませんか？

後期がスタートして、今は運動会の練習に力を注いでいます。前期を終え、振り返ってみて、友達とよくトラブルを起こす・落ち着きがない・集団生活が苦手・文章を作ったり漢字を習得したりすることが苦手・・・など、悩みを抱えているけど、どのように対応したらよいか分からず困っていることはないでしょうか。

北九州市では、右に示しているように、お子様の状況に合わせて、教育、子育てに関する教育相談を行っています。この教育相談事業では、お子様の実態を踏まえ、将来を見通して一人一人の子どもに必要な支援を一緒に考えてくださいます。本校では、複数の特別支援教育コーディネーターがいて、ケース会議や関係機関との連絡調整を行っていますので、気になることがありましたら、ご相談ください。必要に応じて学校からご紹介することもできます。

特別支援学級でも通常の学級においても特別支援教育は、大切な視点です。できるだけ、子ども達の学習への困難さを把握し、特別支援教育の視点で支援の方法を検討しています。得意な面を見つけ、それを生かして、できそうなことを大切にしていきます。保護者の方と連携して、「できた」という経験をたくさん積ませ、自信をもたせていきたいと考えています。お子様の貴重な小学校生活の6年間ですので、お子様や保護者の方で、困り感がおありでしたら、一緒に考えてください。いつでもご相談ください。

教育相談事業

通常の学級に在籍する児童生徒・保護者・教職員を支援する教育相談

特別支援教育相談センターでの相談は、月曜日から金曜日まで9:00~16:00
※来所相談は1回につき1時間程度